

講演要旨

誰一人取り残さない経済の創出に向けて —開発途上国における女性のエンパワーメント

創価大学准教授
内海 友子

「誰一人取り残さない」ことを誓い、2015年に採択された持続可能な開発目標(SDGs)の中間年である本年。パンデミック、紛争、自然災害などでその達成が危ぶまれる中、地球的課題の解決に向けて、共に取り組む必要性が今一度増しています。

創立者・池田大作先生は2018年のSGIの日記念提言の中で、女性のエンパワーメントは、「SDGsの目標の一つというだけでなく、他のすべての目標を大きく前進させる上で欠かせない“SDGsの基軸”」であると述べられました。

国によって差はありますが、世界経済フォーラムが発表しているジェンダーギャップ指数によると、特に経済や政治の分野で、男女格差が大きい傾向にあります。通常の開発過程だけでなく、近年に見られるような危機が起きた時、女性がさらに取り残される懸念は避けられません。

『女性を取り残されるところに、本当の意味での“世界の平和”はないことを忘れてはいけない』(チョウドリ元国連事務次長 池田先生との対談「新しき地球社会の創造へ」p340)

講演では、女性が尊厳を輝かせることのできる経済を創っていくための道筋、特に労働市場における男女格差の解消に向けた鍵を、開発途上国を中心とした世界の事例から模索していきます。

以上